

日本ユング心理学会(JAJP)第9回大会
ワークショップのご案内

本大会においても引き続き、認定心理療法士資格をもつ講師陣による5つのワークショップを開催いたします。臨床心理士の資格更新ポイントとしては、ワークショップとプレコンgressへの参加で2ポイント、大会への参加で2ポイントが取得できます。

今後も当学会資格研修委員会では、心理療法の専門資格としての認定心理療法士の位置づけがさらに明確なものとなるよう、種々の研修機会を提供していきたいと考えていますので、この大会のワークショップにも是非奮ってご参加ください。

資格研修委員長 河合 俊雄

1. ワークショップ概要

会 期: 2020年6月20日(土) 9:30~12:00 (受付 9:00~)
会 場: 東洋英和女学院 六本木校地 (東京都港区六本木5丁目14-40)

参加資格: 以下の条件のいずれかを満たす方

参加費:

- ①日本ユング心理学会 (JAJP) 会員
- ②心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③臨床心理学を専攻する大学院生

	A 5月11日までに 申込の方	B 5月12日~6月3日までに 申込の方
会員	5,000円	6,000円
非会員	7,000円	8,000円
非会員(大学院生)	6,000円	7,000円

*当日参加は、定員に余裕のある場合に限り受付いたします。

2. ワークショップ・コースのご案内

A 十牛図に学ぶ——心理療法で何が起きるのか?

講師: 足立 正道 (足立分析プラクシス)

内容: 禅に伝わる十牛図は、一人の青年が牛を探す場面から始まる10枚の図によって構成されており、修行者の「悟り」へと至る人格変容のプロセスを象徴的に表現したものと考えられている。これは心理学的なプロセスでもあり、我々の理解欲を刺激する魅力を存分に備えており、実際様々な探究がなされてきている。今回は、これを心理療法のプロセスを考えるパースペクティブを与えるものとして捉えてみたい。一枚一枚味わいながら、心理療法で一体何が起きるのか考えていきたい。

事例提供: 受講者の中から事例提供者を募集します。

B 心理療法過程で治療者が見る「クライアントの夢」について

講師: 岩宮 恵子 (島根大学)

内容: 心理療法をしていると担当しているクライアントが夢のなかに出てくることがある。直接、クライアント本人が本人として登場してくることもあれば、本人は出てこないが、これはあのクライアントに関係している夢のような気がすると感じることもある。このような「夢のなかのクライアント像」については、河合隼雄(1988)が自身が見たクライアントの夢を取り上げながら、その意識的、無意識的な意味と意義について考察している。今回は、主訴もなく、本人に積極的な来談の意志が感じられないクライアントとの面接過程のなかで、治療者側が何度もクライアントの夢を見ていた事例を通して、そのプロセスで何が起こっていたのか、転移やイニシエーションの視点なども交えながら考えていきたい。

事例提供: 廣兼 知美氏

C 心理療法における「相互的変容」

講師: 大場 登 (放送大学大学院臨床心理学プログラム【2019年度末まで】 / PraxisOHBA)

内容: 「現代心理療法の諸問題」(1929)という論文の中で、ユングが「告白」「解明」「教育」「変容」という心理療法の4段階について説明していることは有名である。「変容」という言葉で表現される営みがユング派の心理療法とされている。ところが、この論文でユングが「変容」という言葉で表現している営みは、実は、「相互的変容」という意味であって、ユング派の心理療法とはクライアントとセラピスト両者の相互的変容過程なのだと言われていることはあまり知られていない。今回のワークショップでは、ユング派心理療法の本質であるこの点について、事例を通して参加者とともに検討を深めてゆきたい。

事例提供: 事例を募集します。どのような領域のものでも、どのような期間のものでも、どのような展開となったものでも、あるいは、どのような夢との関わりであっても、上記テーマに関係するケースがありましたら、事務局を通して大場宛にご相談ください。A4で1枚程度の概要の提出をお願い致します。

D 心の病の構造を紐解く～対立する2つのものをどのように心に収めるか～

講師：川戸 圓（川戸分析プラクシス）

内容：分析心理学は精神分析学と違って、統合失調症をその理論の基盤としてきた。その病の構造を明らかにすることで、あらゆる心の病に関わる主体の確立の道筋が示されてくる。まず重要なのは、1つのもの(oneness)から2つのものが生まれ、その2つのものがどのように複合されるか、されないかである。二者の複合（対立物の結合）の仕方が心を創り出すのである。本ワークショップでは、スイスで生まれた言語連想検査およびロールシヤハテストを用いて、その構造を理論的に示しながら、心の病の構造に迫ってみる。その際、講師の幾つかの自験例を用いることで、具体的かつわかりやすく提示することを試みたいと考えている。

E 境界領域のイメージたち

講師：山口 素子（山口分析プラクシス）

内容：意識と無意識を想定する力動的な精神療法においては、それらの狭間に境界領域が必ず立ち上がる。この領域は言葉ではなくイメージが力を持つ領域であり、そこにあらわれる様々なイメージたちを大切に扱いたい。そうした中で道化、妖怪、地蔵、トイレなどを取り上げて、イメージの拡充を図りたい。

事例提供：事例の提供者を募集します。上記のもの、あるいはそれ以外でも境界領域に関するイメージが現れた事例（夢、箱庭、描画などいずれでも可）を提供してください。

3. ワークショップの参加申し込み手続き

1. 当学会ホームページ (<http://www.jajp-jung.info/conference.html>) 及び、右記 QR コードの申込フォームよりお申し込みください。Web 申込が完了しましたら自動返信メールが送信されます。
* 申込フォームは、パソコン・スマートフォン対応
* 自動返信メールが届かない場合は、日本ユング心理学会事務局 (office@jajp-jung.info) までご連絡ください。
2. 自動返信メールの内容をご確認の上、2週間以内に、本書類に同封の郵便払込取扱票の必要事項を記入し、合計金額をご納入ください。2週間を過ぎて参加費の納入がなかった場合、申し込みを取り消させていただく場合がありますのでご注意ください。
 - 2020年5月11日（月）までにお申込の場合は、**A**の参加費をご納入ください。
 - 2020年5月12日（火）～6月3日（水）にお申込の場合は、**B**の参加費をご納入ください。
 - 郵便払込取扱票での参加費納入期限：2020年6月5日（金）



【振込先】 郵便振替口座：00980-2-195483

加入者名：「日本ユング心理学会年次大会」（ニホユングシリガクカイネジタカイ）

*振り込みの際には、必ず参加者ご本人の名義でお手続きください。

- ※ 参加費の納入をもって参加の予約完了とみなします。
- ※ 本ワークショップと同日午後のプレングレス両方の参加をもって1日の研修と見なし、日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士教育・研修規程別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通りポイントが付与されます。参加証は、研修証明書の代わりになりますので、大切に保管してください。
- ※ プレングレスの内容がご覧になれる大会第一号通信見本は、当学会ホームページに掲載していますので、非会員・大学院生の方はそちらも併せてご参照ください。
- ※ 参加証は当日、会場の受付にてお渡しいたします。事前の送付はございませんので、ご了承ください。

4. ワークショップ事例発表申し込み手続き

ワークショップにて事例発表をされる方は、以下の要領で申し込んでください。

1. 発表資格は、ワークショップ参加資格に準じます。
2. 参加申し込みと同様の申込フォームよりお申し込みください。
「発表者情報：氏名、所属、連絡先等」、「ワークショップ事例発表申込：①発表希望のワークショップ、②発表予定題目と200字程度の概要、③液晶プロジェクター使用の有無」に必要事項を入力してください。
*発表に際して使用できる映像機器は、液晶プロジェクターのみです。
*発表に使用するノートパソコンは必ずご持参ください。Macの方は、コネクタもご持参ください。
3. 申し込み期限：2020年3月1日（日）
4. ワークショップ事例発表の採否についてのご連絡は、2020年4月初旬に通知いたします。